

講義レジュメ

講 師 岩崎 久美子
期 日 平成 30 年 8 月 3 日 (金)

内容・テーマ

社会教育の対象の理解と組織化 (1) 対象の理解とカウンセリング

講義の目的

社会教育で対象とする人々を理解し、その学習ニーズを把握する方法について、下記の五つに焦点を置いて学ぶ。

- (1) 成人になってからの学習の意義を考える。
- (2) 子供の学習と成人の学習の違いを知る。
- (3) 成人学習の特性を把握する。
- (4) 学習相談の意義を知る。
- (5) 学習者の特性に応じた相談についての知見を得る。

はじめに

- (1) 講義名から内容を考える
- (2) 社会教育の対象
- (3) 社会教育の領域

[ワークショップ 1：なぜ成人になってからの学習が必要なのか考えてみよう。]

1. 生涯にわたって学ぶことの意義

- (1) 現実社会への対処
- (2) 雇用の確保・維持
- (3) 尊厳と自信
- (4) 生きがい
- (5) 仲間との集い
- (6) 未来社会への展望

2. 成人の学習ニーズ

- (1) 子供の教育と成人の教育

[ワークショップ 2：子どもとおとなの教育は何が違うのかを整理してみよう。]

- (2) 成人の学習目的
- (3) 成人の学習阻害要因
- (4) 成人の教授方法：アンドラゴジー
- (5) 講座の持ち方

3. 成人の学習者の特性

- (1) 学習自立度
- (2) 経験の重視
- (3) 就労形態

4. 学習相談の機能

- (1) 学習の仕方に対する支援
- (2) 学習上の課題解決への支援
- (3) 教育・学習資源とのコーディネート

[ワークショップ3：学習相談の課題について考えてみよう。]

5. カウンセリング技法に学ぶ学習相談の在り方

- (1) 質問の種類
- (2) 聞く技術
- (3) 傾聴の技法

まとめ

[ワークショップ4：講義で印象に残ったことを共有しよう。]